



日本語教育ニュース

にほんごきょういく

日本語国際センターは設立 20 周年を迎えました

にほんごこくさいせつりつしゅうねんむか

1989年7月1日に埼玉県浦和市（現・さいたま市）に設立された国際交流基金日本語国際センターは、2009年に設立20周年を迎えました。これまでに世界各国から10,000名を超える方々を研修参加者として迎え、海外日本語教師研修プログラムや指導的日本語教師の養成コース等を実施してきました。また、日本語教材の開発や日本語教育専門図書館の運営等、海外における日本語教育を支援・推進するための様々な事業を行ってまいりました。

この20周年を記念して、当センターでは様々な記念事業を実施しました。その模様を紹介したいと思います。

日本語国際センター設立 20 周年記念事業

にほんごこくさいせつりつしゅうねんきねんじぎょう

高校生のための国際理解セミナー

こうこうせいこくさいりかい

8月末の2日間に渡って、日本語国際センターと財団法人埼玉県国際交流協会の共催で、「高校生のための国際理解セミナー」を開催しました。日本語国際センターが所在する埼玉県には2009年現在143か国、約12万人の外国人が生活しています。日本における多種多様な文化や在住外国人を取りまく状況への理解を深め、多文化共生社会の推進に寄与する高校生を育成することを目的にこのセミナーは行われました。

セミナーでは、応募のあった40名の高校生と、日本語国際センターの研修参加者及び埼玉県在住の外国出身の方など70名が、多文化共生社会づくりへのアクションプランを作成しました。「言葉の壁」「日本社会の問題」など7つのテーマごとに、自分たち一人ひとりに何が

できるか、地域住民や行政に何を求めるかなど様々な視点から話し合い、それぞれの解決策について発表を行いました。また、セミナーの最後には、約30か国、100名の多国籍パーティーが行われ、世界の食文化などに触れながら交流を深めました。今回初の試みでしたが国籍や文化の違う人々との交流を通じ、異文化への理解をより深めることができたセミナーとなりました。



グループワーク



アクションプラン発表

(笹谷富美恵)

シンポジウム

「JF 日本語教育スタンダード—その活用と可能性—」

にほんごきょういくかつようかのうせい

国際交流基金では、日本語の教え方、学び方、評価の仕方を考えるための基盤となる「JF 日本語教育スタンダード（以下、JFスタンダード）」を開発しています。このJFスタンダードについてより深く知ってもらうと、10月4日に20周年記念シンポジウムを開催しました。

シンポジウムでは、JFスタンダードは「相互理解のための日本語」を理念とし、さまざまな教育現場に活用できること、2010年3月に(1)能力記述文データ検索ウェブサイト（みんなのCan-do サイト）



まとめのセッション



図書館：様々な言語のポートフォリオ展示

(2) ポートフォリオ・サンプル (3) 事例集を発表すること、を開発担当者が報告しました。また、国際交流基金の国内外の日本語教育現場から、能力記述文（Can-do）を利用したシラバス改訂や授業目標の共有、自律的な学習や言語的・文化的体験への振り返りを支えるポートフォリオについて報告を行い、引き続き、全体での

ディスカッションも行いました。

当日は、日本語教師および日本語教育関係者、企業関係者、学生等、各方面から多くの参加をいただき、熱心で活発な質疑応答や意見交換がなされました。JFスタンダードは日本語教育に携わるみなさまと一緒に

発展させていくものにと考えています。

JF 日本語教育スタンダード

http://www.jpj.go.jp/j/urawa/j_rsorcs/standard/

(渡辺愛)
わたなべあい

日本語国際センター設立 20 周年記念講演会・式典

日本語国際センターの設立 20 周年を記念して、10月9日に講演会及び式典を開きました。講演会では、平成 21 年度国際交流基金賞日本語部門を受賞した米国日本語教師会連合 (Alliance of Associations of Teachers of Japanese, 通称 AATJ) のスーザン・シュミット事務局長に「アメリカにおける日本語教育と AATJ の活動」と題した



スーザン・シュミット事務局長



記念式典会場にて

講演をしていただきました。米国における日本語学習者数や学習動機の変化、それに伴って日本語教師たちが抱えるようになった多様な問題、そして状況を改善していくために AATJ が取り組んできた活動が紹介されました。会場からは、アメリカでの経験を学ぼうとする世界各地の日本語教育関係者から、活発な質問が出されました。

この講演につづき、記念式典を行いました。埼玉県の上田清司知事、さいたま市の清水勇人市長からお祝いのメッセージを頂いたほか、かつて日本語国際センターで実施していた外交官日本語研修プログラムを修了された駐日モンゴル大使レンツェンドー・ジグジッド閣下もご来場くださいました。

JF 便り <日本語教育編・20号> 2009年11月

<http://www.jpj.go.jp/j/japanese/report/20.html>

(鶴井百合奈)
つるいゆりな

一日日本語でつながる 国際交流まつり 2009 @北浦和

11月21日土曜日に「日本語でつながる一国際交流まつり 2009@北浦和」というお祭りを開きました。当日は、天候にも恵まれ、センター周辺にお住まいの方、国際交流に関心のある方、約 900 名が参加してくださいました。

お祭りでは、日本語国際センターの研修参加者により、世界の歌と踊り、世界の国紹介、世界の遊び体験、外国語学習入門、写真コンテスト「私が見た日本」、「日メコン交流年記念発表会」などが行われました。そのほかにも、図書館での世界の日本語教材の展示、食堂での世界各国の料理の提供、空手デモンストレーション、落語入門など盛り沢山のプログラムがありました。また、地元の埼玉県、埼玉県国際交流協会、埼玉大学などからも協力を得て、各団体を紹介するコーナーも設けられました。

参加された方々からは、「とても楽しかった」「さまざまな国の人と交流できてよかった」「おもしろい企画でした」などの声が多数寄せられ、大盛況のうちに終わりました。研修参加者も、準備が大変だったにもかかわらず、「たくさんの人々と交流ができた」「友だちができた」「お祭りに参加できてラッキーだった」と、とても楽しく充実した一日になったようです。



世界の歌と踊り



世界の国紹介

(竹田順二)
たけだじゅんじ

日本語国際センターは、地域のみならず、世界中のみならず支えられ、設立 20 周年を迎えることができました。

今後も引き続き、海外の日本語教育のさらなる充実化を目標に歩んでいきます。